

令和4年度

# 教育委員会点検・評価報告書

下呂市教育委員会

令和5年9月

はじめに

下呂市では、下呂市第二次総合計画の教育分野において、「生きる力や豊かな文化を育みます」の基本理念のもと、明日の下呂市を担う人づくりに取り組んでいます。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出、公表することとされています。

下呂市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、施策及び事務事業に関する点検・評価を実施し、報告書を作成しています。

令和5年9月

下呂市教育委員会

# 令和4年度「学校教育の方針と重点」についての点検・評価

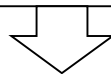
## 1 方針及び設定指標に係る点検・評価

### 【方針】

- ◇「育てたい資質・能力」を決め出し共有し、その力を育む教育を推進する。
- ◇学校の教育目標の具現に徹し、学校、家庭、地域が一体となった学校経営を推進する。

### 【指標】 魅力ある学校づくりに向けて

- ① 「学校が楽しいと感じる児童生徒の割合」を90%以上にする。
  - ② 「授業の内容が分かりやすいと答える児童生徒の割合」を90%以上にする。
  - ③ 「授業で学ぶことが楽しいと答える児童生徒の割合」を80%以上にする。
- ※「あてはまらない」「どちらかというにあてはまらない」と回答した児童生徒に目を向けた指導や支援の充実



### 《指標結果》

#### ① 学校が楽しいと感じる児童生徒の割合

| 年度 | H24  | H25  | H26  | H27  | H28  | H29  | H30  | R1   | R2   | R3   | R4   |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 目標 | 85.0 | 88.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 |
| 実績 | 94.2 | 94.9 | 94.8 | 95.2 | 94.9 | 95.5 | 94.7 | 93.8 | 92.5 | 92.8 | 91.6 |

#### ② 授業の内容が分かりやすいと答える児童生徒の割合

| 年度 | H24  | H25  | H26  | H27  | H28  | H29  | H30  | R1   | R2   | R3   | R4   |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 目標 | 85.0 | 88.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 |
| 実績 | 94.0 | 95.0 | 93.7 | 95.3 | 95.1 | 95.7 | 95.3 | 94.0 | 94.6 | 94.4 | 92.6 |

#### ③ 授業で学ぶことが楽しいと答える児童生徒の割合

| 年度 | H24            | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1   | R2   | R2   | R4   |
|----|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| 目標 | 令和元年度からの新設設定指標 |     |     |     |     |     |     | 80.0 | 80.0 | 80.0 | 80.0 |
| 実績 |                |     |     |     |     |     |     | 91.4 | 92.4 | 92.3 | 90.7 |

### 〈総評〉

- 「コロナ禍」も3年目となり、コミュニケーションがとりづらい生活は継続した。三つの指標の結果は前年度よりそれぞれ1.2ポイント、1.8ポイント、1.6ポイント減少したが、コロナ禍においても目標値は上回った。このことから、児童生徒は概ね学校生活を楽しく送り、充実した学習活動を行っているといえる。特に、コロナ禍で活動の制限を受けながらも、授業や活動方法を工夫して主体的に取り組む力は確実に育ってきたといえる。
- 反対に、三つの指標において、「あてはまらない」または「どちらかというにあてはまらない」と答えた児童については確実に把握し、その子が少しでも「楽しい」「分かりやすい」と思えるよう、全職員で支援し見守っていく必要がある。そのためには、児童生徒の思考を大切にしたい授業づくりや活動づくりを、組織的に行っていかなければならない。
- コロナ禍や自然災害のように、未来は予測困難で、多くの問題に遭遇する。この問題を解決していくためには、課題を「自分ごと」として捉えるとともに、ICTを活用することや、他者と対話をし協力しながら、より良い解決法を探っていくことが必要である。また、学校・家庭・地域が「育てたい資質・能力」を共有し、連携を図りながら、それぞれが主体的に子どもたちを育てていく活動を推進していく必要がある。

## (2)「豊かな心と健やかな体の育成」を図る指導の充実

### ① 道徳教育等の充実内容と評価

#### 【主な取組】

- ・「特別の教科 道徳」の実施と実践による道徳の時間の充実
- ・中学校区における9年間を見通した意図的・計画的・発展的な道徳教育の推進
- ・コミュニティスクールによる体験的活動、学校行事や生徒会活動の工夫等による人間関係構築

#### 【成果・評価】

- ・ボランティア活動に進んで参加するなど、よりよいまちづくりに貢献しようという児童生徒は多い。そうした活動を通して、下呂市の児童生徒は、自然環境の豊かさや地域の人々の温かさを実感している。
- ・学校運営協議会を中心に、地域住民が当事者意識をもって児童生徒を育成していくことの大切さが浸透してきている。
- ・児童生徒の自己肯定感の向上については、引き続き指導を継続していく必要がある。

### ② 生徒指導の充実内容と評価

#### 【主な取組】

- ・管理職のリーダーシップのもと生徒指導体制を構築（組織対応、未然防止、早期発見と早期対応、連携）・改善する
- ・居場所と絆作りによるいじめ防止と早期発見・早期対応に関する研修の充実
- ・規範意識を高める指導の工夫と充実
- ・生徒指導研究協議会や主幹教諭による各校への指導と助言及び生徒指導主事の資質向上

#### 【成果・評価】

##### ☐ いじめの認知件数

| H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2 | R3 | R4 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 19  | 34  | 25  | 117 | 123 | 108 | 54 | 87 | 77 |

- ・昨年度と比べて認知件数は10件減少したが、認知件数を下げることが目的ではなく、「間違いをしながら成長するのが子どもたちである」という認識に立ち、いじめを早期に発見し、素早く対応することで、子どもたちを育てていくスタンスに変わりはない。これにより、重大事態に至ったケースはない。
- ・学校生活アンケートや教育相談週間を年間に複数回実施することで、児童生徒の思いを聞く機会をより多く設け、早期発見・早期対応につなげている。
- ・「下呂市いじめ防止等対策推進条例」等に基づき、「下呂市いじめ問題専門委員会」と「下呂市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、いじめ問題に対する組織体制を整えている。

##### ☐ 不登校

| 校種       | 小学校 |     |     |     |     |     | 中学校  |      |      |      |      |      |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|
| 年度       | H29 | H30 | R1  | R2  | R3  | R4  | H29  | H30  | R1   | R2   | R3   | R4   |
| 人数       | 3   | 5   | 4   | 3   | 7   | 9   | 18   | 15   | 17   | 20   | 28   | 28   |
| 1000人当たり | 1.9 | 3.3 | 2.6 | 2.0 | 5.0 | 6.8 | 21.3 | 18.9 | 22.2 | 26.8 | 36.7 | 35.0 |

- ・小中学校ともに、1000人当たりの出現率が国や県を下回る傾向で推移している。  
\*R4：1000人当たりの出現率：国（小）13.0人（中）50.0人 県（小）15.2人（中）51.2人
- ・下呂市内の小中学校における出現率の増加傾向は続いているが、家庭状況や人間関係などさまざまな要因が絡んでいると考えられる。専門家や関係機関との連携を図るとともに、一人一人の児童生徒との関係を絶たないよう継続的な支援を行っている。家庭以外の居場所づくりのため、移動フリースペースの活用を今後も進めていく。

## 2 重点における評価

### (1)「確かな学力」の定着を図る指導の充実

#### ① 学力向上、教科指導充実内容と評価

##### 【主な取組】

- ・全国学力・学習状況調査の結果分析をもとにした授業改善
- ・C R T調査やQ U検査をもとにした個々の児童生徒の実態把握
- ・児童生徒が主体的に取り組むための授業のしくみ方の研究
- ・個別対応や専門的な指導の実施：少人数指導加配教員、教科専門加配教員配置校（萩原小、下呂小、金山小、萩原南中、下呂中）
- ・複式学級における教科担任、中学校の免許外指導解消による授業の充実
- ・I C T（タブレット）を活用した授業

##### 【成果・評価】

- ・コロナウイルス感染予防対策を講じながら、徐々にペアやグループを活用した対話的な学びが行えるようになってきた。
- ・GIGA スクール構想により、タブレット型 PC が小中学校の全児童生徒に貸与されたことで、学習支援アプリを用いた対話や協働学習を進めていくことができた。また、児童生徒の個々の興味関心や能力、活動の進み具合に応じた授業づくりを試みる学校も増えてきた。
- ・全国学力・学習状況調査の結果は全国平均を上回っており、下呂市の児童生徒の学力水準は高い。引き続き、個に応じた学習を実践しているところである。
- ・C R T調査やアンケートなどをもとにして「育てたい資質・能力」を職員同士で共通理解を図り、その資質能力の育成に向けた授業改善が行われた。市教委による学校訪問で点検を行い、さらに改善点を明らかにして、教師の専門性の向上を図ることで児童生徒の学力向上につなげていけるよう指導した。
- ・「授業がわかりやすい」「授業で学ぶことが楽しい」と答える児童生徒の割合は、前年度と比べるとそれぞれ 1.8 ポイント、1.6 ポイント減少したが、目標値は大きく超えている。児童生徒が、自分で課題を追究していけるような学び方を指導してきたことで、「自ら答えややり方を見つける喜び」につながっていると考えられる。

#### ② 特別支援教育の充実内容と評価

##### 【主な取組】

- ・指導教諭配置による各校への指導と助言及び特別支援コーディネーターの資質向上
- ・市障がい児教育支援委員会の充実による適正就学と適切な支援体制の構築
- ・市費学業支援員、県費非常勤講師配置による個別支援の充実（市費 29 名 県費 3 名）
- ・下呂市専門家チームによるこども園や小中学校への訪問派遣

##### 【成果・評価】

##### □特別支援学級、通級指導教室設置状況

|        | 知的  | 自閉情緒 | 難聴 | 肢体不自由 | 言語通級 | LD/ADHD等通級 |
|--------|-----|------|----|-------|------|------------|
| 小学校（9） | 7 校 | 6 校  |    |       | 2 校  | 4 校        |
| 中学校（6） | 6 校 | 4 校  |    |       |      |            |

- ・令和 4 年度も、市費学業支援員等の配置を計画的に行った。各校においては、関係機関による指導助言や見立てをもとに保護者との相談を丁寧に行うことにより長期的な見通しをもった支援などにつながつつある。「下呂市専門家チーム派遣」が多く活用された。
- ・対象児童生徒は増加・多様化傾向にあり、それに対応する特別支援の専門的な指導ができる教員の育成が課題である。

### ③ 健康及び安全教育の充実内容と評価

#### 【主な取組】

- ・毎朝の健康観察及び保護者との連携強化 ・学級活動における食育や健康教育の充実
- ・食物アレルギー対応指針の啓発（保護者向け説明実施）
- ・「自分の命は自分で守る力」の育成（命を守る訓練の充実、市防災訓練への小中学生の参加）
- ・スクールサポーター事業の継続、強化 ・ボランティアによる見守り活動
- ・危機管理課や警察など関係者による児童生徒の通学路の点検

#### 【成果・評価】

- ・コロナ対策の県の通知を基にした下呂市独自のコロナ対策指針により、学校での感染症拡大防止対策を図った。特に、体温チェックや健康カードの活用をはじめ、手指消毒とマスク着用の徹底により、コロナウイルスを持ち込まないようにするとともに、感染を広めないための対策を行ってきた。
- ・スクールサポートスタッフを活用して消毒作業等を行い、児童生徒の健康保持を図った。
- ・登下校時の安全確保のため、多くの地区で見守り隊やスクールサポーターが活躍している。
- ・学校、PTA、市関係機関との合同通学路点検により、危険箇所を把握し、改善につなげている。

### (3)その他の教育活動、研修事業

#### ① 地域に信頼され地域と共にある学校づくり

#### 【主な取組】

- ・児童生徒や保護者、学校評議員、教職員によるアンケート調査を実施し、定期的評価・検証による教育活動を展開
- ・各校ホームページ充実（教育活動や行事の紹介（写真）や学校だより、学校評価）
- ・地域協働による子育て体制整備

#### 【成果・課題】

- ・令和2年度より全小中学校で学校運営協議会が設置されており、主体的な運営が広がってきた。
- ・学校運営協議会の活性化に伴い、ボランティア活動などに積極的に参加して地域に貢献する児童生徒が増えてきた。
- ・「こんな人に育てたい」という児童生徒の将来像を、学校、家庭、地域が共有し、それに向かって活動を行うとともに、その視点で振り返りを行うことで、より充実した活動につなげていく必要がある。

#### ② 教職員の資質向上

#### 【主な取組】

- ・教育研究所による研修事業充実
- ・市初任者研修、2年目研修実施
- ・市校長研修、教頭研修実施
- ・嘱託研究員会
- ・教科専門指導員、ICT指導員

#### 【成果・評価】

- ・タブレットを活用した授業での職員の指導力向上のために ICT 指導員による実践研修（計 10 回、32 時間）を行った。タブレットを活用した授業について、苦手意識を払拭しようと職場でミニ研修を行った学校もある。
- ・教科専門指導員が若手教員の授業を参観し懇談することによって、若手教員の悩みに答えたりよりよい指導のための支援を行ったりすることができた。（延べ 95 校、111 人）
- ・教育実践講座 夏季講座： 12 講座開設（延べ 366 人）
- ・教育実践論文応募 28 点（昨年度より 5 点増）一般 7 新人 21
- ・令和 4 年度も参集型の研修が開催でき、グループセッションや実技を交えた研修ができた。

#### (4) 教育環境の整備と充実

- ① 育英資金活用事業や要保護・準要保護就学援助事業により、経済的・身体的な理由により就学、進学が困難な児童生徒に対する就学支援の充実を図った。

##### 【主な取組】

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| ・育英資金活用事業       | 高校生 17 名          |
| ・要保護・準要保護就学援助事業 | 小学生 74 名、中学生 51 名 |

#### ② 改築、修繕関係

児童・生徒の教育施設環境向上のため、以下の事業を実施した。

1. 下呂市学校施設長寿命化計画に基づくもの
  - ・萩原小学校長寿命化改良事業（令和 2～4 年度 3/3 年目）
  - ・萩原小学校グラウンド改修事業
  - ・小坂小学校長寿命化改良事業実施設計業務
2. 老朽化し更新時期を迎えた設備等の改修によるもの
  - ・プールろ過装置ろ材入替工事（萩原小）
  - ・不凍水抜きバルブ取替工事（尾崎小）
  - ・灯油地下タンク F R P ライニング工事（萩原南中）
  - ・エアコン移設工事（萩原北中）
  - ・電話設備取替工事（萩原北中）
  - ・放送設備取替工事（小坂中）
  - ・体育館バスケットゴール取替工事（下呂中）
  - ・体育館バスケットゴール取替その 2 工事（下呂中）
  - ・屋内運動場照明 L E D 化工事（竹原中）
3. 新たに整備したもの
  - ・スクールバス車庫整備工事（金山小）
  - ・多目的トイレ新設工事（萩原南中）



## 令和4年度「文化財保護事業の方針と重点」についての点検・評価

### ■文化財保護事業の方針と重点について

#### 1. 方針と成果指標及び評価

##### 1-1. 下呂市第二次総合計画の内容

[基本目標] 2. はぐくみ

[基本施策] 2-4. 歴史・文化財「みんなで守ろう文化財 ふるさとの文化を受け継ぎ守ります」

[目指すまちの姿]

- ①文化財を活用することで、地域文化の向上発展と地域振興を図っているまち
- ②市内全域にある埋蔵文化財の位置情報の正確な記録があり、迅速な情報提供、適切な保存・保護がなされているまち
- ③博物館収蔵品が適切に保存管理され、テーマに沿って随時展示公開することで、下呂市の歴史や文化が市民に深く理解されているまち

##### 1-2. 第二次総合計画の成果指標について

【成果指標①】 埋蔵文化財調査の実施及び調査報告書の成果公開状況

| 年度 | R 1                  | R2                         | R3                        | R4                    | R5                 |
|----|----------------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------|--------------------|
| 目標 | 発掘調査報告書を利用した公開事業案の計画 | 史跡復元イラストの作成<br>(萩原諏訪城・桜洞城) | 史跡復元イラストの作成<br>(鳳慈尾山大威徳寺) | 成果品の有効活用              | 未整理となっている出土資料の整理作業 |
| 実績 | 城郭等復元イラストの事例調査及び予算化  | 地域住民との共同校正作業及び展示           | 地域住民との共同校正作業              | 鳳慈尾山大威徳寺復元図複製パネル地元区贈呈 | —                  |

**内部評価:** 過去に刊行した発掘調査報告書をもとに城郭等の復元イラストを作成、あくまで想像図ではあるが、史跡の全体像を具現化した状態で広く紹介することを新たな成果指標として令和3年度までに3件の復元図の作成を実施した。令和3～4年度にはイラスト完成品（原図）を下呂ふるさと歴史記念館に展示、また複製品を地域公民館に贈呈し、成果品の活用を図った。

今後は、発掘調査の成果である膨大な量の出土資料のうち、多数を占める未整理の資料について、適切な保存と活用を図るため整理作業を実施する。⇒「目指すまちの姿①」

【成果指標②】 下呂市文化財保存活用地域計画の策定

| 年度 | R3                                              | R4                                               | R5              | R6        |
|----|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------|-----------|
| 目標 | 近隣市町村と情報交換                                      | 近隣市町村と情報交換                                       | 基礎調査の実施(所蔵資料調査) | 地域計画の作成着手 |
| 実績 | 文化財保存活用地域計画策定研修会(2/17.18ウェブ会議)に参加、全国の自治体事例の情報交換 | 文化財保存活用地域計画策定研修会(10/24~27小浜市)に学芸員が参加、他自治体事例の情報交換 | —               | —         |

内部評価:「下呂市文化財保存活用地域計画」の策定に向け、まずは現状の課題を抽出、計画策定に必要な指導者の人材(支援員等)の確保に向けた庁内調整を始めた。今後は計画作成に向けた文化財の基礎調査として、博物館収蔵資料の現状調査や市内文化財の調査を進める必要がある。⇒「目指すまちの姿①」

【成果指標③】 下呂ふるさと歴史記念館(博物館法に定める博物館相当施設)入館者数

| 年度 | H29    | H30    | R1     | R2     | R3     | R4     | R5     |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | 14,500 | 14,500 | 14,500 | 15,000 | 12,000 | 12,000 | 15,000 |
| 実績 | 17,449 | 17,574 | 17,822 | 10,455 | 10,973 | 15,654 | —      |

内部評価:新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた入館者数は、規制緩和を受けてから回復傾向にある。令和4年度は開館50周年を迎え、これまでの歩みや過去の企画展示から選りすぐりの資料を再び展示するといった特別展を開催、また関連企画として学校給食において縄文時代の生活をイメージした「縄文給食」の提供を行うなど、新たな企画を計画・実践することができた。

今後は市所蔵資料の整理・調査研究を進めることで展示の充実とイベントの継続的な開催につなげ、博物館の魅力向上と来館者数のさらなる増加を目指す。⇒「目指すまちの姿③」。

2. 主要な個別事業の方針と事業結果について

2-1. 文化財保存修理事業助成費 指定文化財の保存修理補助金 ⇒「まちの姿①」

【国指定】上 呂:久津八幡宮本殿保存修理事業(R4~R5の2カ年事業)

【市指定】中 呂:禅昌寺山門屋根修繕工事

久野川:久野川白山神社蔵書写大般若経修復事業

尾 崎:永養寺本堂自動火災報知設備機器・電話回線工事

久津八幡宮では、約40年ぶりとなる本殿の屋根材(こけら葺き)の修理事業に着手、国庫補助事業として地元地域と修理委員会を立ち上げ、補助金申請から契約と予定どおり事業を進めた。また、市指定文化財においても檜皮葺きの禅昌寺山門の屋根葺き替えを実施するなど、その修理経費について助成を行い文化財保護に努めた。

2-2. 指定文化財保護事業 市内指定文化財の巡視と現地調査 ⇒「まちの姿①」

【文化財審議会】3/6：文化財登録制度について他、条例の一部改正等に関する審議  
【市指定文化財の現状巡視】保護巡視員 15 人による年 2 回の巡視  
【文化庁調査官現地指導】久津八幡宮本殿保存修理事業の現地調査

文化財保護法の一部改正により、令和 4 年 4 月 1 日より地方登録制度が創設できるようになったため、下呂市においても指定ほど高い条件を課さない登録制度を設けた。

文化財巡視員から異常報告のあった文化財について、早期の対応により文化財保護を図っている。

## 2-3. 加藤素毛記念館／金山郷土館／小坂郷土館／馬瀬民俗歴史資料館／禅昌寺歴史資料館

今日まで地域に大切に伝わった収蔵資料の展示公開⇒「まちの姿③」

【加藤素毛】・【金山郷土館】地域の郷土史に詳しい人物による希望日開館と対応  
【禅昌寺歴史資料館】・【小坂郷土館】・【馬瀬歴史民俗資料館】地域の歴史・民俗資料、埋蔵文化財出土品等の収集保管施設

加藤素毛記念館は、遣米使節団の一員として活躍した「県重文加藤素毛の遺品」を展示公開する施設である。当施設は金山郷土館とともに地元小学生の社会科見学先として利用されている。

禅昌寺歴史資料館は市内の歴史資料・埋蔵文化財が収蔵保管されており、県内外の研究者による調査研究や他の博物館の展示借用に供している。

小坂郷土館・馬瀬歴史民俗資料館を地域の歴史・民俗資料の保管施設と位置付け、学校や調査研究目的の利用に限り事前申請の上、開放している。

## 2-4. 博物館収蔵品調査保存整理事業 古文書や出土遺物を整理保存し新たな価値を発見

⇒「まちの姿③」

【市収蔵資料の調査整理と公開】未整理資料の適切な保存と活用に向けた整理  
【収蔵品を活用した講座・授業の実施】下呂ふるさと歴史記念館収蔵資料授業支援

市内の各収蔵施設は老朽化が進み、雨漏りによる水損被害が発生するなど資料のおかれる環境は年々悪化している。また、未整理資料が多いため把握が不十分で活用ができずにいる。貴重な資料を将来にわたって保管・継承するために収蔵施設の更新と整理作業が必要である。

市内各地に散在する市の所蔵資料の一元管理を目指すうえで、新たな収蔵施設の確保に向け、県内における廃校利用施設の視察を実施した。

下呂ふるさと歴史記念館において、宮田小学校児童へ収蔵資料を活用した授業を実施。今後、授業の単元に沿った収蔵資料活用のさらなる拡充を図りたい。



## 令和４年度「社会教育の方針と重点」についての点検・評価

### 分野別方針と評価

下記分野別重点事項について別表のとおり事業結果等をまとめました。別表「分野別教育」の欄に次の①～④の重点事項が対応しております。

#### ①家庭教育機能の充実

子供の自立と積極的で温かい心の育成など、未来を担う子供たちの人格形成の基礎を培うことを目指します。その実現に向けて、情報提供の工夫と支援の充実を図るような事業をより一層推進し、関係機関相互の連携を推進します。

- 妊娠期から青少年期の段階に見合った子供の育成支援
- こども園や学校、地域の連携による、家庭の教育力の向上

#### ②地域を担う人づくり

生涯にわたる学習・生活の基礎等となる知識や技能、主体的に学ぶ意志や態度、さらにはボランティア精神や公共心を養う事や社会変化に適切に対応できる能力、たくましく生きるための健康や体力など、「誇りをもって共に生きる力」を身に付けることを目指します。

- 交流キャンプをはじめとする青少年の育成のための野外活動事業
- 「子ども会」などの協調性や集団活動を養うための学習機会・体験活動支援
- 地域と学校を結び、地域づくり、人づくりを考える「地域学校協働活動」の推進

#### ③生涯学習活動の推進

文化芸術活動関連団体及びスポーツ活動団体を支援し、幅広い世代で学ぶことが出来る学習機会を確保し、余暇の充実や生きがいづくりを推進します。もって自分づくり、仲間づくり、地域づくりを図り、地域還元を目指します。

- 市内の文化芸術活動・スポーツ関連団体がもたらす学びの機会の支援
- 誰もが生涯にわたり学びの機会を得るための生涯学習講座の開設
- パソコンやスマートフォン講座開設による生活を豊かにするためのデジタル機器・媒体の理解の向上と新聞や本といったアナログ媒体の大切さを知る機会の創出

#### ④人権教育の推進

人を思いやる心と偏見差別を生まない判断力を養う機会を創り、誰もが互いを尊重し安心して暮らせるまちを目指します。

- いじめや LGBT（性的マイノリティ）等に対する偏見、差別を無くすために研修会や人権啓発活動を実施します。
- SNSをはじめとするいじめや差別を生まない温かい心をはぐくむための情報教育の推進  
社会生活の中で情報が果たしている役割や影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について理解し、情報社会へ参画する。



# 社会教育事業の重点事業と評価

| 重 点                                                                                                                                                                                     |                        | 評 価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重 点（事業）                                                                                                                                                                                 |                        | （分野別教育）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 実績                                                                                                                                                                                      | 評価                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>家庭教育支援<br/>総合整備事業<br/>10040305</p> <p>◇親学び講座（父親参加の体験型講座を含む）<br/>◇命のふれあい講座<br/>◇企業内家庭教育研修会<br/>◇家庭教育支援事業（下呂市家庭教育支援チーム）<br/>◇子育て支援の連携会議による家庭教育相談体制の強化<br/>◇社会教育主事2名の配置による推進体制強化の継続</p> | <p>①家庭教育機能の充<br/>実</p> | <p>①親学び講座<br/>親学び講座<br/>4回開催 98人参加<br/>・7/23 アニマルバスケット教室<br/>・7/24 夏休み親子でサマードーム<br/>作り<br/>・8/23 親子防災教室<br/>・10/19 子育て講演会</p> <p>②下呂市家庭教育支援事業<br/>UPカフェ（3歳未満児の親対象）<br/>赤ちゃんカフェ（0歳児の親対象）<br/>支援チームスタッフ 7人、<br/>開催20回、延べ参加者156人<br/>萩原地域10回、下呂地域4回、<br/>金山地域6回</p> <p>③いのちのふれあい講座<br/>（命の講話、託児体験、性の多様性<br/>等）<br/>市内6中学校 42回<br/>10小学校 25回<br/>延べ参加者1,601人</p>             | <p>① 親学び講座<br/>・親子で様々な体験をすることを通して、親子のコミュニケーションづくりを図り、子育てのヒントとなる情報や手立てを学ぶ機会となった。</p> <p>②下呂市家庭教育支援事業<br/>・UPカフェ・赤ちゃんカフェでは、コロナ対策で飲食は中止したが、保護者同士や保護者と支援チームスタッフとの語り合いの場をつくり、子育て中の母親の悩みや不安の解消、ストレス緩和を図った。コロナ禍だからこそ、交流の場を求めている母親のニーズに応えることができた。</p> <p>③いのちのふれあい講座<br/>・参加した児童生徒が、命の大切さ等を学び、人権への意識、自己肯定感の醸成につながった。</p> |
| <p>青少年教育諸<br/>経費<br/>10040201</p> <p>◇少年の主張の開催<br/>◇青少年顕彰（わかあゆ賞）の実施<br/>◇わくわくインターナショナルフェアの開催<br/>◇青少年育成市民会議の開催<br/>◇青少年文化等振興激励金交付<br/>◇立入検査（有害図書等）の実施<br/>◇人権学習資料の配布</p>                | <p>②地域を担う人づく<br/>り</p> | <p>下呂市青少年育成推進員 13名</p> <p>①青少年育成市民会議<br/>【R4.6.11開催】<br/>・少年の主張下呂市大会<br/>新型コロナウイルス感染症対策のため、R3年度同様に規模を縮小して開催。少年の主張下呂市大会は市内各中学校から6名の代表による審査会となった。参加者2名を飛騨地区選考会へ推薦（金山中、小坂中代表）。<br/>・青少年育成顕彰「わかあゆ賞」<br/>青少年の文化、スポーツ、奉仕活動等の優れた活動 顕彰 60名、1団体<br/>新型コロナウイルス感染症予防のため、授与式は行わず、郵送。</p> <p>②わくわくインターナショナルフェア<br/>【R4.11.12開催】<br/>子供たちへ気軽に英語に触れあえる機会を提供するためのイベントを開催。<br/>参加者77名</p> | <p>①青少年育成市民会議<br/>・少年の主張大会は、コロナ対策をした上で実施した。参加した生徒6名は自らの主張を堂々と発表し評価を得たことで、生徒の自信や意欲等につながった。また、無観客開催であったため、CCN放映を行い、中学生や市民の関心向上を図った。</p> <p>②わくわくインターナショナルフェア<br/>・主に小学校低学年の子供たちに英語に対する興味や親近感を持ってもらうことが出来た。</p>                                                                                                     |

社会教育事業の重点事業と評価

| 重 点                      |                                                       | 評 価        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------------|-------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重 点（事 業）                 |                                                       | (分野別教育)    | 実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 青少年健全育成事業<br>10040205    | ◇子ども会活動の推進<br>◇親子わくわく科学体験教室の開催<br>◇ふるさとジュニアサポーター活動の推進 | ②地域を担う人づくり | ①親子わくわく科学体験教室<br>市内小中学校の理科担当教諭等で構成された「下呂サイエンスの会」に委託し、学校や家庭では体験できない科学を通じて、子どもたちが驚きや感動の体験を味わい、親子のふれあいを深める機会を作ることを目的として実施した。<br>8/19 39名参加<br>11/19 45名参加<br><br>②青少年各種団体補助金<br>・子ども会等活動育成補助金<br>実績 1,212千円<br><br>③ふるさとジュニアサポーター活動<br>花植え、学童保育、児童館、イベント等へのボランティア参加                                  | ①親子わくわく科学体験教室<br>・科学の楽しさを伝え広めると共に、主体的な家庭学習を促す契機となった。<br><br>②青少年各種団体補助金<br>・子ども会活動では、新型コロナウイルス感染症予防で活動ができない中でも、各子ども会が安全に配慮した活動を検討実施し、貴重な体験となった。<br><br>③ふるさとジュニアサポーター活動<br>・コロナ禍により、子供たちが地域に出て活動することが難しくなり、体験機会や地域の人とのつながりが減ったが、学校と地域との連携の中で、豊かな体験ができるよう、つながり作りを行いたい。                                                                                     |
| 地域学校協働活動推進事業<br>10040207 | ◇地域学校協働活動<br>◇放課後子ども教室（上原・中原小学校区）                     | ②地域を担う人づくり | ①地域学校協働活動<br>・市内の全12校区で地域学校協働活動を実施した。<br>（内容）職場体験、職業講話、農林業体験、福祉ボランティア、地域の宝さがし、地域伝統行事への参加、地域住民との交流等<br><br>②放課後子ども教室（地域学校協働活動の一環として実施）<br>・上原っ子クラブ(上原小学校区)<br>令和元年10月より開始<br>R4開催回数198回<br>参加児童数(平均)14人<br>全スタッフ数19人<br>・中原っ子クラブ(中原小学校区)<br>令和元年11月より開始<br>R4開催回数157回<br>参加児童数(平均)15人<br>全スタッフ数13人 | ①地域学校協働活動<br>・地域学校協働活動推進員の委嘱 14名<br>・各学校において、地域学校協働活動が積極的に行えるよう、推進員を委嘱して、地域人材の発掘、地域行事と学校のコーディネート。<br><br>②放課後子ども教室<br>・運営スタッフは、地域住民にて人数が確保でき、安定した教室運営を行うことができた。<br><br>【全体】<br>・地域学校協働活動については、高齢者・保護者・主婦・学生等の参画もあり、それぞれが地域の子供たちの成長や学びを支えるという意識をもって参画しているだけでなく、自分自身の喜びや生きがいとを感じる方も多い。<br>・子供たちの郷土愛の醸成のみならず、住民の地域づくりにもつながっている。今後は自治会や各種団体の活動との連携を一層深めていきたい。 |

社会教育事業の重点事業と評価

| 重 点                               |                                        | 評 価        |                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------|----------------------------------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重 点（事業）                           |                                        | （分野別教育）    | 実績                                                                                                                                                                                                 | 評価                                                                                                                                                                                               |
| 下呂市交流<br>キャンプ開催<br>費<br>10040221  | ◇交流キャンプの開催                             | ②地域を担う人づくり | <p>コロナウイルス感染症拡大防止によりR4も中止となったが、3年連続山之口キャンプ場が閉鎖していることから同キャンプ場があれいたため、シニアリーダーによる整備及び再開に向けたデイキャンプを実施した。</p> <p>また、代替事業として下呂温泉街において「R4 なぞときトレジャーツアーin下呂～ジュニアリーダーとまちで遊ぼう～」を実施した。</p> <p>8/18 参加者84名</p> | <p>①コロナ禍で交流キャンプは開催できなかったが、開催地の整備、指導に当たるシニアリーダーの研修の機会を得ることが出来、再開に向けた準備の年となった。</p> <p>②代替事業として行った「R4 なぞときトレジャーツアーin下呂～ジュニアリーダーとまちで遊ぼう～」では多くの親子に温泉街を歩きながら謎解きに挑戦してもらい。「子供たちに地域を知る機会」を創出し、好評であった。</p> |
| 生涯学習講座<br>費<br>10040309           | ◇生涯学習講座の開催                             | ③生涯学習活動の推進 | <p>コロナウイルス感染症拡大防止により前期講座は中止となったが、後期に開催を実施した。</p> <p>9講座 参加者117名</p> <p>社会的課題に対する学習を推進するため、庁内連携して講座を行うための検討調査を行った。</p>                                                                              | ①折り紙講座、バランスボール講座、ワンドレーズ英会話講座、ウクレレ体験講座、和布手芸講座、ふるさと歴史講座、手話講座、棒編み物講座、ペン習字講座を実施し、多くの参加をいただき学びの機会を得ることが出来た。                                                                                           |
| 文化伝統芸能<br>推進事業<br>10040758        | ◇市文化祭の開催<br>◇文化協会の活動支援                 | ③生涯学習活動の推進 | <p>市文化協会に対して、活動支援補助金1,524千円を交付。</p> <p>5/21 市文化祭 展示の部 星雲会館<br/>来場者数 275名</p> <p>6/26 市文化祭 芸能の部 交流会館<br/>来場者数 414名</p>                                                                              | <p>①コロナ感染拡大以来、開催を見合わせていた文化祭を実施した。</p> <p>コロナ禍以降活動が出来ず、発表の場のない時期が続いており、各団体の会員数も減少が続いていたが、活動、発表の場が設けられることにより活動活性化の機会となった。</p>                                                                      |
| 体育振興団体<br>活動事業助成<br>費<br>10050109 | ◇体育協会、総合型地域スポーツクラブ支援補助<br>◇全国大会等出場者激励金 | ③生涯学習活動の推進 | <p>下呂市体育協会への運営補助金12,358千円を交付。加盟種目団体数：20団体<br/>2,728人</p> <p>総合型地域スポーツクラブ活動維持補助金706千円を交付。</p> <p>全国大会等出場者 41名に激励金交付。</p>                                                                            | ①コロナ禍で制限がある中でもスポーツを通じた健全な肉体、精神を作りだすための活動をしていただき、市民の健康維持、運動意欲向上に寄与した。                                                                                                                             |

社会教育事業の重点事業と評価

| 重 点                        |                                                                                         | 評 価        |                                                                                             |                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重 点（ 事 業 ）                 |                                                                                         | (分野別教育)    | 実績                                                                                          | 評価                                                                                                                                                                                                       |
| 公民館活動費<br>10040401         | ◇公民館主事の配置                                                                               | ③生涯学習活動の推進 | 金山地域の4公民館に公民館主事を配置。<br><br>公民館主事 4 名（金山・下原・菅田・東）報酬 2,903千円<br><br>8 講座 延べ 64名参加             | ①コロナ禍により限られた人数、機会の中でも講座を開催することにより、生涯学習活動の推進に寄与した。                                                                                                                                                        |
| 図書館運営<br>10040501          | ◇3図書館（はぎわら、下呂、金山）及び小坂図書室と馬瀬移動図書館の運営<br>◇新刊図書購入費、図書システム運用管理<br>◇資料の充実、雑誌・月刊誌の充実<br>◇広報活動 | ③生涯学習活動の推進 | ・蔵書数 R3 116,159冊<br>R4 118,403冊（1.9％増）<br>・貸出数 R3 94,270冊<br>R4 91,563冊（2.8％減）<br>・年間249日開館 | ①蔵書数は微増となった。また、貸出件数はコロナの影響もあって微減となった。<br><br>②今後も図書サービスの向上に努め、利用者の増加を図る。                                                                                                                                 |
| 男女共同参画・人権啓発推進事業<br>2010701 | ◇人権講演会の開催<br>◇人権擁護委員の活動                                                                 | ④人権教育の推進   | 5/28 人権講演会 交流会館 160名参加<br>年間活動 人権の花植樹運動 尾崎小学校 全校児童93名<br>人権啓発冊子の配布 市内小中学校他232名の親、関係者に配布。    | ①人権講演会ではLGBTQをテーマに仲岡しゅん氏を講師に講演を行った。まだまだ理解が乏しい性的マイノリティについて市民の理解度の向上に寄与した。<br>②花を育てる活動を通して、「命の大切さ」を感じる機会を得ることができた。花にもたくましい生命力があること、種が新しい命へと繋がっていくことを体験でき、花に触れることで、子どもたちの笑顔や癒しの効果が得られ、笑顔で和やかに活動している様子が見られた。 |